

最期の夜、華麗なる復讐の扉が開く。

UNDERWORLD

DENIS LEARY JOE MANTEGNA ANNABELLA SCIARRA

KEYSTONE PICTURES in association with TRIMARK PICTURES presents a ROBERT VINCE production
DENIS LEARY JOE MANTEGNA "UNDERWORLD" ANNABELLA SCIARRA LARRY BISHOP and ABE VIGODA

Casting by ABRA EDELMAN and ELISA GOODMAN, c.s.a. Production Designer JOHN EBDEN Edited by ROBIN RUSSELL Director of Photography STEVEN BERNSTEIN Executive Producers MARK AMIN ABRA EDELMAN and MICHAEL STRANGE Produced by ROBERT VINCE and WILLIAM VINCE Written by LARRY BISHOP Directed by ROGER CHRISTIAN Distributed by GAGA communications, Inc. and TAKI corporation



ユーモアのセンスと、 軽快なヴァイオレンス。 憎めない復讐者、 ジョニー・クラウン。

復讐の為なら何でもする残虐さとともに、幼なじみのフランクと疎遠になっていた妻の仲を取り持ってみたり、名曲をメドレーで歌いながらサンドウッチを作るなど、憎めない面を持つジョニー・クラウン。彼のとりとめなく、複雑な内面をスタンダップ・コメディー出身のデニス・レアリーがユーモアのセンスと、キレた演技で魅せる。幼なじみフランク・カヴィランを演じる、ジョー・モントーニャの抑えた演技、柔らかい物腰が、対照的にお互いを引き立て合い、疑いあいながらも、友情を取り戻そうとする二人の関係を見事に演じきった。

多くの名前、幾つもの顔を 持つ男たちが お互いを罠に陥れる、 張り詰めた空気の中で 解き明かされてゆく真実とは？

仲間同士が裏切りあう、何者も信じられない孤独な闇の世界。罪を着せられ、父親を植物人にされた復讐をどうやって遂げるか？ ジョニー・クラウンの頭の中には、綿密な計画が立てられていた。服役中に身につけた、サイコ専門のセラピストとしての資格を活かし、容疑者の分析を始めるジョニー。いつしか幼なじみのフランク・カヴィランが、自分を陥れた“謎の男”リチャード・エセックスではないかと怪しみ始める。多くの名前、幾つもの顔を持つ容疑者たちと暗喩的な台詞がさらに謎を深めてゆく。青い闇の中、フランクを乗せた深紅のリムジンを走らせ、かつての仲間たちの記憶を呼び戻す旅が今、始まる。

リッチな古きよきハリウッドと 超現実的な現代が 美しく交錯する UNDER WORLD。

仲間が集うクラブは、古き良きハリウッドのリッチさで描かれ、現代のヴァイオレンスがフィルムノワールの光と闇の世界で繰り広げられる。青い闇に血の赤が映え、謎を秘めた男の顔が金色の光に照らし出される。こうした今までにない新しい感覚を持つロジャー・クリスチャン監督の細部に渡るこだわりと、独特な色調の画面が『アンダーワールド』の世界をどこかの街で実際に起こった悪夢の様に映し出す。『スターウォーズ』でアカデミー装飾部門最優秀賞を受賞した、この監督のもとで美術を担当したのはアキ・カウリスマキ監督の作品で活躍しているジョン・エブデン。彼のヨーロッパ的な視点も『アンダーワールド』の世界に大きく影響を与えていると言えるだろう。



最期の夜、華麗なる復讐の扉が開く。

1996年／アメリカ／カラー／ピスタ／ドルビー／104分
【キャスト】ジョニー・クラウン ● デニス・レアリー ● フランク・カヴィラン ● ジョー・モントーニャ ● ドクター・アリア ● アナベラ・シオラ
ネッド・リンチ ● ラリー・ビショップ ● ウィル・キャンドル ● アベ・ヴィゴダ ● アンナ ● トレシー・ローズ
【スタッフ】監督：ロジャー・クリスチャン 脚本：ラリー・ビショップ 撮影：スティーブン・バーンスタイン 編集：ロビン・ラッセル 美術：ジョン・エブデン 製作：ロバート・ヴィンス ウィリアム・ビンス
配給：GAGA株ギャガコミュニケーションズ+タキコ+ボレーション

11月29日(土)より
レイトロードショー！
●連日PM9:20より一回上映(終映PM11:10)

特別鑑賞券¥1,400 [当日一般¥1,800のところ] 劇場窓口、都内プレイガイド、チケットぴあ、チケットセゾンにて絶賛発売中



新宿 武蔵野館
シネマカリテ
03(3354)5670